

【改めて“ヒト”と“組織”を考えるシリーズ13】

2012年（辰年）はどんな年になりそうか？

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【2012年はどんな年？】

2012年（辰年）は、どんな年になるのでしょうか。“予言”は難しいですが、これまでの“傾向”から、ある程度“辰年の特質”のようなものは推測できるかも知れません。

そこで、ある種の“遊び”のつもりで、過去の辰年の出来事を調べてみました。

【長期的な“流れ”が見え始める年？】

すると、戦後では日本の主権回復（サンフランシスコ講和条約の発効：1952年）から、東京オリンピックや東海道新幹線の開通（1964年）を経て、今の通販文化のベースとなった宅配サービスの開始（1976年）、消費税関連法案可決（1988年）など、その後の“大きな流れ”を決める事件が、辰年で毎回のように起きているのです。

【戦後ばかりではなく戦前も…】

更には戦前にも、こうした“その後の源流のような事件”は、かなりの部分辰年に集中しています。そもそも、明治維新（1868年）そのものが辰年なのです。そして日本がその後の国際的ポジションを形成する直接的要因となった日露戦争（1904年）も辰年に開戦しているのです。

【日露戦争後も続いた事件】

日露戦争の後も、2度あった辰年に大きな事件が続き、それがその後、日独伊三国軍事同盟（1940年）につながります。もちろん同年も辰年です。

その他にも、次々に“辰年はその後の長期的な流れを決める”と言いたくなるような事件や出来事が起きているのです。

【2012年は確かに“そんな”感じ！】

確かに、本格的な震災復興や財政再建は、2012年にスタートしそうですし、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）など、大きな国際課題にも“方向性”が見え始めるのかも知れません。

しかし、国家や経済動向はさておき、“企業”として、こうしたムードの中で“今何を考える”べきなのでしょうか。

従来の“辰年”の分析と“今後の経営方向性”について取りまとめた“経営レポート”をご用意いたしました。

【レポートを定期購読しませんか？】

この“経営レポート”は、**定期購読（有料）希望者には詳細な内容のレポートを毎月送りますので、ご遠慮なく下記までご一報ください。**



2012年は“辰年”です。そして、1868年辰年の明治維新以来、辰年には毎回のように“その後の運命を決定付ける”かのような出来事が起きていると言われるのです。

もちろん全部が全部そうではないのですが、方向性が定まる象徴的な事件は、確かに辰年に多いかも知れません。そんな傾向の中、私たちのマネジメントの“方向性”はどうあるべきなのかを探ってみました。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！